

【今週の注目疾患】

麻しん

千葉県では2008年1,071例、2009年113例、2010年42例、2011年27例、2012年23例、2013年20例、2014年25例の届出があった(表1)。保健所別届出数を表2に示す。2011年以降は、30例未満で推移している。麻しんに関する特定感染症予防指針では、平成27年度(2015年度)までに麻しんの排除を達成し、世界保健機関による麻しん排除達成の認定を受け、その後も排除状態を維持することを目標としている。そこで2014年に届出された25例の発生状況をまとめた。

表1. 2008年～2014年千葉県の麻しん年別・性別・年齢群別届出数

性別	年齢群別	2008年		2009年		2010年		2011年		2012年		2013年		2014年		合計	
		届出数	%	届出数	%												
男性	0歳	44	4.1	13	11.5	1	2.4	4	14.8	1	4.3	1	5.0	2	8.0	66	5.0
	1～4歳	111	10.4	43	38.1	21	50.0	5	18.5	2	8.7	3	15.0	9	36.0	194	14.7
女性	5～9歳	116	10.8	8	7.1	3	7.1	3	11.1	1	4.3	0	0.0	3	12.0	134	10.1
	10～14歳	163	15.2	13	11.5	2	4.8	1	3.7	2	8.7	0	0.0	4	16.0	185	14.0
年齢群別	15～19歳	425	39.7	10	8.8	4	9.5	1	3.7	4	17.4	1	5.0	1	4.0	446	33.8
	20代	129	12.0	8	7.1	4	9.5	7	25.9	7	30.4	3	15.0	4	16.0	162	12.3
年齢群別	30代	62	5.8	13	11.5	5	11.9	1	3.7	4	17.4	8	40.0	2	8.0	95	7.2
	40代	16	1.5	2	1.8	1	2.4	3	11.1	2	8.7	3	15.0	0	0.0	27	2.0
年齢群別	50代	2	0.2	2	1.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	5.0	0	0.0	5	0.4
	60代	2	0.2	1	0.9	1	2.4	2	7.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	6	0.5
年齢群別	70代	1	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.1
	合計	1071	100.0	113	100.0	42	100.0	27	100.0	23	100.0	20	100.0	25	100.0	1321	100.0

図1. 2008年～2014年千葉県の麻しん年別・年齢群別届出割合

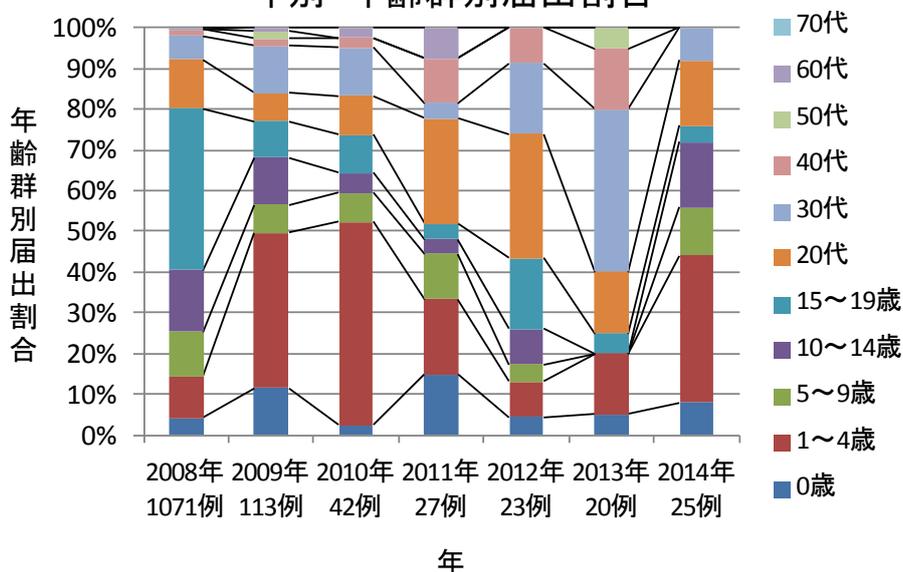


表2. 2008年～2014年千葉県の麻しん保健所別・年別届出数

保健所	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	合計
習志野	70	4	3	1	0	0	2	80
市川	219	8	3	6	2	3	2	243
松戸	32	3	3	0	0	1	19	58
野田	7	1	0	2	0	0	2	12
印旛	75	11	5	5	5	2	0	103
香取	10	0	0	1	1	0	0	12
海匝	8	0	0	0	0	0	0	8
山武	33	2	1	1	0	0	0	37
長生	26	1	0	1	0	0	0	28
夷隅	19	0	1	0	0	0	0	20
安房	18	1	0	0	0	0	0	19
君津	117	3	4	0	0	0	0	124
市原	130	3	1	1	0	1	0	136
千葉市	129	37	14	4	8	11	0	203
船橋市	100	10	6	4	5	1	0	126
柏市※	78	29	1	1	2	1	0	112
合計	1071	113	42	27	23	20	25	1321

※2008年3月31日までは柏保健所

2014年に届出のあった25例の詳細は以下のとおりだった。

性別は、25例中男性12例(48.0%)、女性13例(52.0%)だった(表1)。

年齢群別では、1～4歳が36.0%と多かった(表1、図1)。

病型別では、麻しん(検査診断例)24例、修飾麻しん(検査診断例)1例だった。

症状等は、発熱25例(100%)、発疹25例(100%)、咳23例(92.0%)、鼻汁18例(72.0%)、結膜充血12例(48.0%)、コプリック斑9例(36.0%)、眼脂8例(32.0%)、肺炎2例(8.0%)、中耳炎1例(4.0%)、腸炎1例(4.0%)、クループ1例(4.0%)、脳炎1例(4.0%)だった(複数報告あり)。

診断方法は、検体から直接のPCR法による病原体遺伝子の検出24例(96.0%)、血清IgMの検出16例(64.0%)、分離・同定による病原体の検出2例(8.0%)、ペア血清での抗体の検出1例(4.0%)だった(複数報告あり)。

感染地域は、千葉県19例、都道府県不明3例、フィリピン3例だった。

麻しん含有ワクチン接種歴は、接種2回有り3例、接種1回有り4例、不明4例、接種無し14例だった。週別・予防接種歴別届出数を図2に示す。

図2. 2014年千葉県の麻しん週別・予防接種歴別届出数 25例

